

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧<リハビリテーション学科理学療法学専攻>

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
基礎ゼミナールⅢ (PT)	2	本講義は、理学療法士として臨床での実務経験（全教員１０年以上）を有する教員が担当する。
基礎ゼミナールⅣ (PT)	2	実務経験あり：全教員が理学療法士として10年以上従事した経験があり、その実務経験を活かして理学療法の実践力と応用力を高めるための講義を行う。
社会学	2	医療機関で社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省で相談支援専門官として２年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、社会学に関連する知識や視点等についての授業を行う。
経済学	2	NPOや一般企業での勤務経験、また現在、市民セクターと企業セクターの協働の実践の構築の経験が10年ある。それらの実務経験を活かして、社会福祉の学びが一般企業においてどのように生かされるのかを実践の紹介を交えて講義をおこなう。
日本史と世界	2	国公立小学校教諭（21年）、大阪府教育センター社会科担当指導主事（６年）を経験した。
保健体育 (B)	2	小学校（小中一貫校も含む）で教諭，教頭，校長（29年間）として，小学校教育に関わった経験があり，学校や子どもたちの実態を踏まえた具体的授業を展開する。
体育実技 (A)	1	石川：高等専門学校教員（４年半）、西里：高校・大学トレーナー（10年）
体育実技 (B)	1	石川：高等専門学校教員（４年半）、西里：高校・大学トレーナー（10年）
体育実技 (C)	1	石川：高等専門学校教員（４年半）、西里：高校・大学トレーナー（10年）
オーラルコミュニケーション	2	兵庫県内の公立と私立の中学校・中等教育学校・高等学校において、教諭および主幹教諭として通算40年以上業務に従事した経験がある。この授業では、その実務経験を活かして、実践的な英語力を修得するための授業を行う。
総合教養	2	（福祉栄養学科 伯井朋子）保健所や健康増進施設等で30年公衆栄養業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして「栄養と健康」についての授業を行う。 （リハビリテーション学科 重森健太）地域理学療法分野で25年。
医療キャリアデザイン ① (PT)	1	実務経験あり（中俣40年）：病院および地域リハビリテーションにおいて理学療法士としての実務経験があり、対象者との関係づくりとキャリア形成について授業を行う。
臨床心理学	2	小学校・中学校・高等学校・専門学校でスクールカウンセラー（学生相談員）として16年、教育相談・学生相談を経験した。 児童自立生活援助事業で児童福祉司・心理主任として6年、相談支援及び生活支援を経験した。 小児科・精神科で非常勤の臨床心理技術者として10年以上、相談支援を経験した。 児童育成支援拠点事業・ひきこもりサポート事業・児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・障害児者相談支援事業所を運営する理事長及び支援者として10年、管理業務及び相談支援を経験した。 障害者の自立訓練事業・就労移行支援事業の顧問及び臨床心理士として、11年、相談支援を経験した。 地域若者サポートステーション・若者総合相談窓口のスーパーバイザー及び臨床心理士として5年、相談支援を経験した。 関西電力送配電（株）和歌山支社でメンタルヘルススーパーバイザーとして9年、ラインケア研修や従業員の相談支援、カウンセラーへのスーパービジョンを経験した。
健康増進・予防理学療法学演習 ①	1	実務経験あり：病院等において理学療法士の業務に25年間従事している。現在は高齢者の健康増進・予防理学療法に関する研究に従事しており、これらの実務経験を生かして授業を行う。
健康増進・予防理学療法学演習 ②	1	実務経験あり：病院等において理学療法士の業務に25年間従事している。現在は高齢者の健康増進・予防理学療法に関する研究に従事しており、これらの実務経験を生かして授業を行う。
運動学 (PT) ①	1	本科目を担当する全ての教員は病院等の医療施設において理学療法士として10年以上従事した経験があり、その実務経験を活かして身体運動のメカニズムに関する授業を行う。
運動学 (PT) ②	1	本科目を担当する全ての教員は病院等の医療施設において理学療法士として10年以上従事した経験があり、その実務経験を活かして身体運動のメカニズムに関する授業を行う。
内科学・生活習慣病	2	実務経験あり：医療機関において医師として長年業務に従事しており、その実務経験を活かして内科学・生活習慣病についての授業を行う。
神経内科学	1	実務経験あり：医療機関において医師として長年業務に従事しており、その実務経験を活かして神経内科学についての授業を行う。
高次脳機能障害学演習	1	作業療法士免許と臨床の実務経験を有する教員（実務経験20年）、言語聴覚士免許と臨床の実務経験を有する教員（実務経験13年）が、学修内容（知識や技能）の臨床場面での活用や応用を含めて講義する。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
救急医療	1	担当者は医療施設等において、医師として、作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
日常生活動作	1	実務経験あり（26年）：病院や施設、街づくり事業において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして日常生活動作についての授業を行う。
リハビリテーション概論	2	実務経験あり（26年）：病院、施設、まちづくり事業において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を生かしてリハビリテーション概論についての授業を行う。
薬理学（リ）	2	実務経験あり：医療機関において医師として長年業務に従事しており、その実務経験を活かして薬理学についての授業を行う。
病理学	1	この科目の担当教員は実務経験者である。
臨床精神医学	1	長年、精神科入院外来診療に携わっている。
生活支援技術演習①	1	実務経験あり（26年）：病院や施設、街づくり事業において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして日常生活動作についての授業を行う。
生活支援技術演習②	1	実務経験あり（26年）：病院や施設、街づくり事業において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして日常生活動作についての授業を行う。
理学療法概論	2	病院・クリニックで理学療法士として20年以上理学療法業務を経験した（三谷保弘、森耕平）
臨床運動学（PT）	2	本科目を担当する教員は病院等の医療施設において理学療法士として10年以上従事した経験があり、その経験を活かした臨床的な運動学の指導を行う。
理学療法評価学Ⅲ（神経学的評価）①	1	臨床において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして神経系に障害を有する患者様への検査・測定方法やその意義・目的についての授業を行う。 理学療法士歴 27年
理学療法評価学Ⅲ（神経学的評価）②	1	臨床において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして神経系に障害を有する患者様への検査・測定方法やその意義・目的についての授業を行う。 理学療法士歴 27年
理学療法評価学Ⅳ（画像評価・動作分析の基礎）①	1	病院において理学療法士として25年従事した経験があり、その実務経験を活かして動作分析に関する授業を行う。
理学療法評価学Ⅳ（画像評価・動作分析の基礎）②	1	病院において理学療法士として25年従事した経験があり、その実務経験を活かして動作分析に関する授業を行う。
理学療法臨床学演習Ⅰ（ペーパ－ペ－ジェント）	1	実務経験あり：病院等において理学療法士として従事した経験（森：25年、有末：18年）を活かし、理学療法プロセスに関する授業を行う。
運動療法学①	1	理学療法士として病院ならびにスポーツ現場に従事した経験を活かし、病態評価ならびに運動療法技術の指導を行う。
運動療法学②	1	理学療法士として病院ならびにスポーツ現場に従事した経験を活かし、病態評価ならびに運動療法技術の指導を行う。
物理療法学Ⅰ（基礎）①	1	病院で理学療法士として従事したことがあり、その経験を活かして講義を行う。 理学療法士歴 27年
物理療法学Ⅰ（基礎）②	1	病院で理学療法士として従事したことがあり、その経験を活かして講義を行う。 理学療法士歴 27年
物理療法学Ⅱ（臨床的応用）①	1	実務経験あり：病院で理学療法士として勤務した経験が14年間あり、その経験を活かして物理療法をどのように実施するかについて授業を行う。
物理療法学Ⅱ（臨床的応用）②	1	実務経験あり：病院で理学療法士として勤務した経験が14年間あり、その経験を活かして物理療法をどのように実施するかについて授業を行う。
義肢装具学（PT）①	1	実務経験あり：病院等において理学療法士として従事した経験を活かし、疾患に応じた義肢装具の適応を含めた授業を行う。（有末：実務経験19年、福住：実務経験21年）
義肢装具学（PT）②	1	実務経験あり：病院等において理学療法士として従事した経験を活かし、疾患に応じた義肢装具の適応を含めた授業を行う。（有末：実務経験19年、福住：実務経験21年）
運動器障害理学療法学Ⅰ（基礎）①	1	整形外科疾患のある患者様に対する臨床経験25年以上ある教員が担当

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
運動器障害理学療法学Ⅰ（基礎）②	1	整形外科疾患のある患者様に対する臨床経験25年以上ある教員が担当
運動器障害理学療法学Ⅱ（臨床的応用）①	1	病院において理学療法士として25年従事した経験があり、その実務経験を活かして運動器障害に対する理学療法についての授業を行う。
運動器障害理学療法学Ⅱ（臨床的応用）②	1	病院において理学療法士として25年従事した経験があり、その実務経験を活かして運動器障害に対する理学療法についての授業を行う。
発達障害理学療法学	1	小児専門医療機関において理学療法士として実務に従事した経験があり、その経験を活かして正常発達や発達障害児（者）の理学療法についての授業を行う。
内部障害理学療法学Ⅰ（呼吸器疾患）①	1	病院において理学療法士として業務に従事した経験（植村：14年、中村：12年）があり、この実務経験を生かして呼吸理学療法についての授業を行う。
内部障害理学療法学Ⅰ（呼吸器疾患）②	1	病院において理学療法士として業務に従事した経験（植村：14年、中村：12年）があり、この実務経験を生かして呼吸理学療法についての授業を行う。
内部障害理学療法学Ⅱ（心疾患）①	1	・実務経験あり：病院において理学療法士として業務に従事した経験があり（森・中村：10年以上）、その実務経験を生かして内部障害理学療法学Ⅱ（心疾患）についての授業を行う。
内部障害理学療法学Ⅱ（心疾患）②	1	・実務経験あり：病院において理学療法士として業務に従事した経験があり（森・中村：10年以上）、その実務経験を生かして内部障害理学療法学Ⅱ（心疾患）についての授業を行う。
代謝疾患・がん理学療法学	1	・病院にて理学療法士として内部障害患者の理学療法に従事した経験（中村・成：10年以上）および内部障害理学療法の教育経験を生かして授業を行う。
理学療法総合演習	1	本科目を担当する全ての教員は病院などにおいて理学療法士として10年以上従事した経験があり、その実務経験を生かして検査測定の臨床的な技能について講義する。
回復期リハビリテーション学	1	実務経験あり：脳卒中専門病院（急性期および回復期病棟）で理学療法士として業務に従事した経験が14年間あり、その実務経験を活かして回復期リハビリテーションにおける理学療法士についての授業を行う。
生活環境学演習	1	本科目を担当する教員は病院等の医療施設において理学療法士として10年以上従事した経験があり、地域理学療法（訪問リハビリテーション、高齢者福祉施設等）の実務経験から理学療法における環境整備について授業を行う。
臨床実習Ⅰ（臨床見学実習）	2	本科目は、理学療法士として臨床経験を有する教員が担当する。全教員、理学療法士歴10年以上。 実習先では理学療法士実務経験5年以上の実習指導者により実習が遂行される。
神経障害理学療法学Ⅰ（基礎）①	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、また現在も週1回は病院業務を行なっている。その経験を活かして脳卒中に対する理学療法について授業を行う。 理学療法士歴 26年
神経障害理学療法学Ⅰ（基礎）②	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、また現在も週1回は病院業務を行なっている。その経験を活かして脳卒中に対する理学療法について授業を行う。 理学療法士歴 26年
神経障害理学療法学Ⅱ（臨床的応用）	1	病院での実務経験を活かして講義を行う。 理学療法士歴 27年
領域別理学療法演習	1	実務経験あり：病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして理学療法の実践力と応用力を高めるための講義を行う。実務経験は。全教員10年以上。
地域理学療法学①	2	実務経験あり（26年）：病院や施設、街づくり事業において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして地域理学療法学についての授業を行う。
地域理学療法学②	2	実務経験あり（26年）：病院や施設、街づくり事業において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして地域理学療法学についての授業を行う。
臨床実習Ⅱ（臨床評価実習）	4	実務経験あり：病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして理学療法の実践力と応用力を高めるための講義を行う。実務経験は。全教員10年以上
臨床実習Ⅲ（臨床治療実習）	13	本科目は、理学療法士として臨床経験を有する教員が担当する。（全担当教員10年以上の実務経験あり）
臨床実習Ⅳ（保健福祉実習）	1	病院および地域リハビリテーションにおける理学療法士としての経験を活かし、技能指導および実習指導を行う。担当教員は全員10年以上の臨床経験がある。
多文化と共生	1	担当者（永井）は医療施設・福祉施設等において作業療法士および部門管理者として30年以上業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして本講義を行う。 担当者（内海）は学校現場において栄養教諭として業務に13年間従事した経験があり、その実務経験を活かして本講義を行う。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
栄養学（リ）	1	リハビリに取り組むアスリートに対する栄養教育経験のある管理栄養士である教員が、その実務経験を活かして栄養学についての授業を行う。
老人福祉論	1	1983年社会福祉学科卒業後、大阪府枚方市の社会福祉法人聖徳園に入職。在宅要介護高齢者のデイサービスセンターに配属され3年間、知的障害児通所更生施設に配属され1年間、再び同デイサービスセンターに配属され、在宅介護支援センターソーシャルワーカー、デイケアセンターソーシャルワーカー（生活相談員）を担当する。その後、同法人内で、24時間ホームヘルパーステーション、訪問看護ステーション、介護員2級ヘルパー事業、認知症グループホーム、地域包括支援センター等の立ち上げ、枚方市の医療ソーシャルワーカーと連携しながら、在宅の医療依存度の高い利用者の支援を行ってきた。 1) 在宅高齢者デイサービスセンター介護業務 昭和60年4月 デイサービスセンターを中心として、入浴介助、移動介助、着替え等の介護業務を行ってきた。 2) 枚方市24時間地域高齢者ホームヘルプ事業への取り組み 平成6年 4月 全国的にも珍しかった枚方市における24時間ホームヘルプサービス実施の3つの委託先の1つとして現場の立ち上げに尽力した。深夜時間帯はホームヘルパーステーションへの宿直体制で緊急ホームヘルプのニーズに対応できる体制を整備した。6年間 3) 地域高齢者訪問看護ステーションの事業立ち上げ 平成11年 12月 枚方市内で2ヶ所目（民間法人としてははじめ）なる訪問看護ステーションの指定申請や現場の体制整備に取り組んだ。 4) ホームヘルパー養成講座 2 級課程の開始 平成11年 12月 介護職の人材養成教育として、ホームヘルパー 2 級課程の開講を担当した。定員 4 0 名で年 2 回の実施。現在までに約500人の修了生を輩出した。 5) 認知症高齢者地域グループホームの立ち上げ 平成12年8月 認知症対応型共同生活介護（定員7名）の指定申請や管理者（3年間）を担当した。 6) 居宅介護支援事業の運営管理 平成12年4月 居宅介護支援事業の運営を管理者として担当した。6年間 7) ISO9001の法人責任者 平成16年6月 サービスの品質に関する国際標準規格であるISO9001の法人全体の責任者（14業種33施設）を担当した
整形外科学	1	担当者は医療施設において整形外科医として実務経験があり、またスポーツ整形外科、膝関節外科、再生医療を専門としており、その経験を活かして本授業を行う。
小児科学	1	小児科医師 小児科専門医として臨床経験豊富
医療安全・感染症学	1	医療機関において内科医師として診療に従事しており、その経験を活かして実践的な医療安全学や感染症学についての授業を行う。
リハビリテーション医学	1	医療機関におけるリハビリテーションの実務経験を有する教員が、臨床場面での知識の活用や実用的な訓練法を含めて講義する。 全教員は、10年以上の実務経験を有する。
作業療法学	1	医療機関や福祉施設、特別支援教育の領域において作業療法士として34年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして作業療法の実践についての授業を行う。
画像診断学	1	実務経験あり：医療機関において医師として長年業務に従事しており、その実務経験を活かして画像診断学についての授業を行う。
医療経済学	1	担当者は医療施設・福祉施設等において作業療法士および部門管理者として30年以上業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
運動・応用生理学 ①	1	臨床医（実務経験35年）または理学療法士（実務経験30年）として豊富な臨床経験のある教員により授業を行う。
運動・応用生理学 ②	1	臨床医（実務経験35年）または理学療法士（実務経験30年）として豊富な臨床経験のある教員により授業を行う。
地域・医療連携論	1	・実務経験あり（重森26年、藤井35年）：病院や施設、街づくり事業において理学療法士・作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして授業を行う。
理学療法研究法	1	病院において理学療法士として 2 5 年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして理学療法研究に関する授業を行う。
理学療法治療技術特論	1	病院において理学療法士として従事した経験（経験年数10年以上）があり、その実務経験を生かした理学療法に関する授業を行う。
スポーツ傷害理学療法学 ①	1	病院において理学療法士として 2 5 年従事した経験があり、その実務経験を活かしてスポーツ外傷・障害に対する理学療法についての授業を行う。
スポーツ傷害理学療法学 ②	1	病院において理学療法士として 2 5 年従事した経験があり、その実務経験を活かしてスポーツ外傷・障害に対する理学療法についての授業を行う。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
高齢者理学療法学	1	実務経験あり：病院や地域の介護予防・健康増進事業において理学療法士として25年間従事した経験があり、その実務経験を活かして高齢者を対象とした理学療法の実践に関する授業を行う。
理学療法特論	1	本科目は、全教員が理学療法士として10年以上の臨床経験を有しており、その経験を活かして理学療法学に必要な知識を教授する。
理学療法管理学Ⅰ	1	実務経験あり：急性期および回復期病院にて理学療法士としての実務経験が14年あり、理学療法における管理学について授業を行う。
理学療法管理学Ⅱ	1	病院でリハビリテーション科管理職として従事したことがあり、その経験を活かして講義を行う。 理学療法士歴 26年
解剖学演習（PT・OT）①	2	実務経験あり（由留木）：病院において理学療法士として従事した経験(26年)があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
解剖学演習（PT・OT）②	2	実務経験あり（由留木）：病院において理学療法士として従事した経験(26年)があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
基礎解剖学演習（PT・OT）①	2	実務経験あり（由留木）：病院において理学療法士として従事した経験（26年）があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
基礎解剖学演習（PT・OT）②	2	実務経験あり（由留木）：病院において理学療法士として従事した経験（26年）があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
理学療法評価学Ⅰ	2	実務経験豊富な複数の教員で講義、演習を行うため基礎的な技能に加え、臨床的な思考、視点から指導する。
理学療法評価学Ⅱ（筋機能）①	2	実務経験あり：病院において理学療法士として従事した経験（全教員10年以上）があり、その実務経験を活かして理学療法評価学（特に筋力測定）に関する授業を行う。
理学療法評価学Ⅱ（筋機能）②	2	実務経験あり：病院において理学療法士として従事した経験（全教員10年以上）があり、その実務経験を活かして理学療法評価学（特に筋力測定）に関する授業を行う。
理学療法臨床学演習Ⅱ（模擬患者）	2	実務経験あり(全担当教員10年以上)：病院、地域リハビリテーションにおいて理学療法士として従事した経験を活かし、理学療法プロセスに関する授業を行う。

計 135